

会議名	令和2年度第4回上下水道事業経営審議会
日時	令和2年8月24日（月） 14:00～14:55
場所	消防本部6階 大会議室
出席委員	木村隆之会長、石川宗一郎委員、井深正美委員 鷺見守昭委員、箕輪光顕委員、渡辺貴郎委員、武藤豪委員、近藤隆郎委員 森健二委員、瀬瀬晴美委員、河野美佐子副会長、葛西裕子委員、山田謙一委員
欠席委員	服部学委員、岡田美津子委員
次第	1 審議事項、説明事項 ・ 前回審議の質問事項への回答 ・ これまでの審議のまとめ
議事概要	<p>＜説明事項＞</p> <p>資料「第4回 上下水道事業経営審議会」により事務局から説明</p> <p>＜説明事項に対する質疑＞</p> <p>(水道料金と一般会計補助金等繰入金の比較について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員から、水道料金が安価な自治体であっても、繰入によって安価にしている自治体もあるように見受けられるが、岐阜市は繰入金も水道料金も中核市平均以下の水準であり、概ね適正であると言えるのではないかと意見 <p>(有収率の改善について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 改善に向けて取り組んでいることは理解しているが、本市の有収率は他都市に比べて著しく低い。改善に取り組んでいるとは思いますが、結果として数字が重要であり、80%等を目指し、他都市で有効とされる方法等を参考にしっかりと取り組んでいく必要があるとの意見 水は365日、24時間市民生活に必要なものであり、水道料金は生活に直接影響があるので、有収率の問題が4年後に料金値上げに繋がることがないように取り組んでほしいと意見 <p>(災害対策・老朽化対策について)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害の際に、水道管の破裂等によって大規模な断水が発生した場合、都市運営に支障を来す恐れがあるが、公共施設や病院、学校等への管路網について、優先的に耐震化を行っていく等の計画はあるのかとの質疑に対し、水源地から配水池、重要な施設への管路等の基幹管路については、耐震化に取り組んできており、その耐震化率は45%以上と全国平均を上回っている状況で、今後も着実に耐震化を進めていくと回答 持続可能なシステムへの再構築に関連した管路についての質疑に対し、老朽化対策等を行いながら、縮小・再編は検討していくと回答

(簡易水道の統合の影響について)

- 委員から過去の簡易水道の統合が水道料金に影響していないかとの質疑があり、簡易水道の統合は平成17年に完了しており、統合により簡易水道の借入金を引き継ぎ、繰り入れ基準に基づき一般会計から繰入を受けて償還しているが、料金には特段の影響はないと回答
- 今後、簡易水道等の統合はあるのかと質疑があり、簡易水道の統合は平成17年度に完了しており、平成18年度には市町村合併に伴い、柳津町の水道を統合しているが、合併のような事情がなければ、今後、他の事業者の水道施設を統合する予定はないと回答

(井戸水利用者の水道水への切替促進について)

- 施設等の建替え等の際には、市への届出等が必要な場合もあるので、日頃から情報収集を図りながら、水道利用を促進していくよう要望
- 市内に井戸水利用者はどの程度いるのかとの問いに対し、水道の普及率が85.5%であることから、残りの14.5%程度は水道を利用していないため井戸水等の利用者と考えられると回答

(他の事業者との同調工事について)

- 道路の同じ個所を何度も掘削して工事を行うことを避けるためにどのようなことをしているのかとの質疑に対し、道路管理者が開催する会議等を活用して情報共有を行っているとは回答

(「これまでの審議のまとめ」について)

- 委員から、人口減少により収入増が見込めず、建設改良費として年平均30億円規模の施設整備が必要な状況である中、料金は他都市に比べて安い水準にあり、料金値上げも検討しなければならないかと思えるところであり、また、有収率の向上のためには、財源を確保して布設替えのペースを上げていくことも考えうるが、今回は料金を据え置いて、その中で有収率の改善も図っていくとのことで、大変な状況ではあるが、安全・安心な水の供給を持続し、有収率の向上も図りながら、市民生活に影響がないよう料金は据え置くとのことで、よくまとまっていると意見

(答申について)

- 会長から、これまでの審議を踏まえ、今後10年を見通した上で、現行の料金水準及び料金体系を維持していくことを内容として、答申をまとめていくことになるが、審議の中で示された意見をどのように答申に盛り込んでいくかについて、有収率の改善及び災害対策などについて多くの意見があったので、例えば「有収率の改善を焦眉の課題として着実に取り組む」等の表現を用いて、これらを強調して盛り込む方向でどうかと提案があり、一同異議なし
- 会長から、答申案の作成にあたっては、本日欠席した委員の意見も反映していくよう事務局に要請

(その他)

- 鏡岩配水池を整備した際、試験を行った結果、配水池で漏水があったかの話聞いたことが

あるが、現在は大丈夫かとの質疑に対し、工事完了後の引き渡しの時点でそのようなことはなく、現在も問題ないと回答

- 平和通りで上下水道事業部の工事が長く行われているが、これは予定どおりなのか、との質疑に対し、ご指摘の工事は下水道の工事で、地中に管を埋設する工事であるため、地中の状況によって工事着工後に当初の設定から工期が伸びることはあるが、現在は目的とする工事は着実に進んでいると回答